

2 学級開き（担任第一声）から一週間の指導

1 学級開きと最初の一週間の取組の意義

4月は、学校生活の最も大きな節目として、夢や希望をもって教室に足を運ぶときです。どの生徒も過去の自分のよさを生かし、あるいは過去の自分の弱さを克服していこうと「新しい学年では…」と意気込み、よりよいスタートをしたいと願っています。全ての生徒が新年度への期待を抱いていることを十分に受け止め、前向きに活動していこうとしている事実を積極的に認めていくことが大切です。

反面、新しい先生や仲間との関係に不安を抱き、それをうまく解消できずに、反社会的な行動を示してしまう生徒がいることもあります。また、言動には表れなくても、中学校への入学による環境の変化に対する不安や、学習に対する不安や悩み、進路についての不安や悩み等を抱えている生徒がいることもあります。まずは、当該生徒の行動の背景にある意識に思いを馳せ、生徒を丸ごと受け止めます。しかし、最初の一週間だからこそ、指導しきらなければならない事案には毅然とした態度で臨みます。「あなた（たち）が大切だからこそ譲れない」と教師としての心構えを示すことが、学級集団における規律をつくる要となります。

2 具体的な方途

(1)担任第一声を大切にします

「この先生なら、いい思いをたくさんさせてくれそうだ。」という『期待感・安心感』を！

「私たちの学級はこんなことを大切にしていくなんだな。」という『見通し』を！

「こんな自分になりたい。」という『憧れ』を！

①何をこそ伝えるか

- ・学校の教育目標、生徒の発達の段階や実態を踏まえ、目指す姿を明確にし、目指す姿と担任の教育観に基づいて、「担任第一声」の内容を考えていきます。

②どのように伝えるか

- ・「担任第一声」の伝え方を工夫します。（担任の個性が表れる場面です。）
- ・自分の体験から実感したことなどを通して、願いや思い、大切にしたいことを分かりやすく、内容が想起できるような具体物を示して語ると生徒は共感して聞くことができます。

③具体的な姿を語る

- ・内容については、抽象的な言葉にとどまらず、「1学期の終わりには、こんな姿となってほしい。」や「卒業式をこんな姿で迎えたい。」など、具体的な生徒の願う姿で示します。

④自己開示する

- ・「どんな先生であるのか」は、生徒や保護者にとって最も関心があり、出会いの印象は後の信頼関係に大きく影響します。

(2)はじめの一週間を目安に生徒に寄り添い、学校生活の基盤をつくります

寄り添うとは（例）

- ・顔と名前を早く覚える
- ・教室で生徒を迎える
- ・生徒と机を並べて給食を食べる

基盤とは（例）

- ・役割行動…日直、給食当番、掃除等の当番活動や教科係等の係活動の動き方等
- ・規範意識…時間行動（定時定位置）、挨拶、提出物、聞き方・話し方等
- ・心の開放…学級レクリエーション、構成的グループエンカウンター等

(3) スタート活動をします

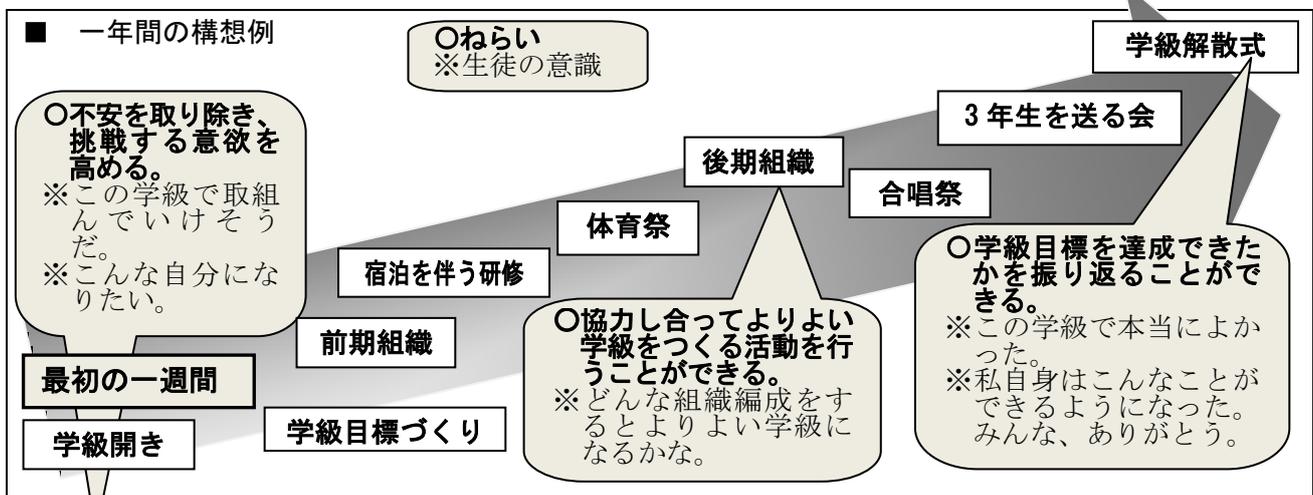
→スタート活動とは、新しい仲間と役割分担し「できた事実」を生み出す活動であり、生徒自身が自分たちで動き出す姿を認めたり考えたりすることができる活動。

- ・1年間の学級づくりの基盤となっていく内容を工夫します。できた事実がみんなのためになる実感を味わえる内容にします。
- ・活動期間（1～2週間）を明らかにします。開始日までに一人一人の動き（いつ・どこで・だれが・どのように）を明確にし、生徒の自己有用感が高まるよう事前指導を行います。

(4) 願いを大切にしたい組織作りの準備をします

- ・「こんな学級にしたい」「こんな自分になりたい」という生徒の願いを確認します。
- ・仮組織での活動を通して、学級の組織編成を確認します。
- ・一人の行動が学級全体を動かしていることに気付けるように指導をします。
- ・仮組織での活躍を認め、本組織への立候補につないでいきます。

3 願う姿の明確化と段階的な指導



■ 最初の一週間の構想例（一年間の構想の中での最初の一週間）

自分を開放できる仲間関係作り

- ・分からないときは分からないと意思表示できるようにします。
- ・互いのよさやがんばりを認め合う雰囲気大切にします。

自分の思いを伝える基盤作り

- ・話し方、聞き方のモデルを示します。（相手、目的、場面や状況、方法を意識して）
- ・ノートやプリントには丁寧な字で、最後まで書くように見届けます。
- ・仲間に協力してほしいことや、こうするともっとよくなるという改善方法を、帰りの会等で振り返ります。

仲間を大切にする基盤作り

- ・仲間の呼びかけに応えるようにします。
- ・時間を守るようにします。
- ・整理整頓にこだわります。（机上、ロッカー内、ロッカー上、雑きん棚、掃除道具入れ等）
- ・公の場では仲間を呼び捨てにしないようにします。
- ・自分のやるべきことを最後までやり抜くようにします。
- ・「何を言ってもよい」のではなく、「言ってよいこと」と「言ってはならないこと」のけじめを大切にします。

【参考】・学級経営の充実を目指して（岐阜教育事務所教育支援課 Web ページ）